

令和7年度 第3回 静岡県立天竜高等学校春野校舎 学校運営協議会議事録

1 日時 令和8年1月23日（金） 午後1時30分から4時まで

2 場所 静岡県立天竜高等学校春野校舎 応接室

3 委員 尾畑 佳志（浜松市春野支所長）
北野 昌宏（春野中学校校長） ※欠席
田中 敏司（春野中学校区青少年健全育成会会長）
中田 宗男（同窓会会長）
松田 直美（前PTA会長）
松本 常志（学校後援会会長）

4 内容

- (1) 校長あいさつ
- (2) 1年間の生徒の活動等について
- (3) 学校評価について
 - ア 学校経営計画報告（自己評価）について説明
 - イ 質疑応答
 - ウ 委員による学校評価
- (4) 授業参観（総合的な探究の時間「春校アワー」成果発表会）
- (5) 学校運営に関する意見交換

5 議事録（要点）

- (1) 校長あいさつ

本日は、年度末の大変お忙しい中、また、春野支所においては衆議院解散で選挙対応に追われる中、御参集いただき本当にありがとうございます。日頃から本校の活動に御理解御協力をいただき感謝申し上げます。本校は、昨年度から始めた学校修正プログラム「リバイス天竜」が2年目になり、様々な校内改革プランを進め、生徒・教職員にとって、よりよい教育・労働環境の構築に努めております。また、一昨年の12月に浜松市との連携協定締結を行ったところですが、12月20日に本校二俣校舎を会場に提供させていただき、12市町合併10周年記念イベントが開催されました。春野校舎からは、生徒会長はじめ生徒会執行部の生徒が参加し、普段流れている本校校歌の作曲者サンプラザ中野くんをお招きして一緒に歌う経験もできました。これまで種を撒いたものが、今年度になり様々な形で花開いたものがあったか思います。来月には、中田同窓会長様も出席する地域協議会が開かれ、この地区のあり方のグランドデザインが出ることになると思います。そこで春野校舎の今後をイメージできるようなモデルが提示されればありがたいと思っております。今年度1年間の本校の教育活動に対する学校関係者評価と忌憚ない御意見をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(2) 1年間の生徒の活動等について

写真や新聞記事で1年の学校生活を振り返った。

(3) 学校評価について

ア 学校経営計画報告（自己評価）について説明

副校長より学校評価アンケートや家庭学習時間調査等のデータに基づき、本年度の学校経営計画の（ア）から（ケ）の成果目標に対して達成状況を説明した。

イ 学校評価に関する意見交換・質問

- ・ 基本的生活習慣や人間関係づくりのための支援について
- ・ 読書活動について
- ・ 生徒サポート委員会について

(4) 授業参観（総合的な探究の時間「春校アワー」成果発表会）

2、3年生の発表を参観した。

(5) 学校運営に関する意見交換

- 授業について、多様な生徒のニーズに応えられるよう、ソフト面、ハード面での体制が整えられており、生徒も安心して学習に取り組んでいると感じる。
- 家庭学習は、生徒たちの受け止めが受け身的なのかなと感じることがある。また、しっかり出来てないと自覚している生徒が多いと思う。きっかけ、動機付けや、その後のやってきたことに対する見届け等をコツコツと丁寧にやって行くことで、習慣化を図ることが一番大事かなと感じている。素直な生徒が多いので、指示されることよりも、自分で好きなものを見つけながら、その中で、数学や国語、英語等の学びを取り入れていくような学び方をしてくれるとよいと思う。
- 家庭学習については、個別対応になるので難しいが、生徒に応じた丁寧な対応を継続してほしい。
- S S Tを行っている場面を直接見たことないが、そこで学んでいるからか、会う度に、生徒たちが精神的な面で少しずつ成長した様子がみられている。
- S S Tは、春野校舎の生徒にとって必要で、効果的な取組だと思う。
- 表現が苦手な生徒も多いと思うが、少しずつでもコミュニケーション力が高まればよいと思う。
- 今回から入った「S S TやHR活動等によりコミュニケーション能力が高まったと答える生徒の割合」について、生徒の特性を考えて悩みながら 70%に目標設定したと思うが、91.7%という高い結果が出ていた。次年度、この達成状況を見て、数値目標を実態に合わせていけると思う。
- SNSの使い方について、友達の誹謗中傷や写真の拡散といった学校でのトラブルも含め、社会とつながっているというネットの怖さを踏まえて、引き続き御指導いただきたい。
- 「進路指導が適切に行われていると答える割合」について、生徒が100%、保護者が91.1%と非常に高いが、生徒と保護者との約10%のギャップの原因がどこにあるのか、ここにさらなる改善のヒントがありそう。
- 進路については、高校生なので、基本的には対生徒でよいと思う。

- 進路に関する行事は、回数を増やすとか、インターンシップ等で連携できた企業に協力いただくとか、考えることもよいと思う。評価について、目標に実施回数を置くと改善には増やすしかなくなるので、評価方法や目標で少し工夫していけば、よりよい進路指導につながると思う。
- 部活動では、生徒達が様々な場面で発表や活躍をしている。11 月の中旬にある小中学校の P T A 研修会でも、吹奏楽部や郷土芸能部が演奏してくれるとありがたいが、地域のイベントや定期演奏会と同じ時期になってしまうので実現は難しそうか。
- 卓球部やソフトテニス部も、帰りのバスの時間があって練習時間が短い中、少しずつ成果がでてるのが素晴らしい。
- 学校行事について、達成状況がかなり高くなっている。春野校舎の行事は様々な事情を鑑みて時期や内容を変えている。時代に合わせることは大事だと思った。
- 学校行事は、小中学校や地域との交流も図られており、よいと思う。
- 朝読書については、多分、小さい頃から、小中学生でも読み聞かせがどこの地域でも盛んなので、そういった環境が高校生になっても、自分から読書するような素地になっていると思う。引き続き、読書活動に取り組んでほしい。
- 春野校舎の図書室は、小さいながらもとても充実していると思う。天竜文学賞も良い取り組みで誇らしい。生徒の読書活動に役立っている。
- 朝食を摂らない子どもが増えていると聞くと、春野校舎の生徒はほとんどが朝食を摂っているようで安心した。ぜひとも朝食の大切さを今後も伝え続けてほしい。
- 生徒サポート委員会が平均月 2 回実施はすごい。それだけ一人一人を丁寧にみてくれているという安心感につながる。
- 生徒サポート委員会の定期開催、悩みや相談の親身な対応の需要、期待が、春野校舎の生徒にとっては大きいと思うので、さらに充実したサポートを目指してほしい。
- 「先生は悩みや相談に親身になってくれると答える生徒の割合」が 98.3%なのは、ありがたい。小さな学校なので、1 人でもそうでない先生がいると、数値は大きく下がるはずなので、先生方皆さん話しやすいのですね。
- 幼稚園や小学校、中学校との交流は、どこも少人数なのでありがたい。多くの生徒が参加している実績が有るにもかかわらず、「地域との交流やボランティア活動をした生徒の割合」が 53.3%なのは、聞き方や活動の価値づけの仕方にあるかもしれない。せっかく様々な良い活動をしているので、そこは工夫したい。
- ひょっとしたら、生徒たちは地域との交流を土日実施のものだと考えていることはないか。春野校舎の生徒にボランティアをお願いしたいと思うことがあるが、土日のイベントでは、やはり参加が難しいと思う。限られる時間の中で様々な取組をしていてくれると思うが、土日以外で、プログラムとして地域貢献ができる機会を考えていただけると数値が変わるかもしれないし、地域としてもとても助かる。
- P T A 総会の出席率 70%は高い数値だ。皆さん、クラス懇談会だけでなく全体会から参加されてるのは、春野校舎の教育活動に協力的であることのあらわれだと思う。
- 「春校だより」は、情報が良く伝わってきて、様子がわかるのでよいと思う。
(たよりだけでなく新聞記事等も)

- 春野校舎のホームページはよく見ている。12 市町合併 10 周年記念イベントの記事が二俣校舎より早くアップされていた。タイムリーに情報提供してくれてありがたい。
- 「探究活動を仲間と主体的に行った答える生徒」、「校外での探究活動が有意義であったと答える生徒」の割合が本当に高い。毎回同じ形の評価なら、目標を変えて、さらなる改善の方策を探るのもよい。
- 地域をテーマにした探究活動は、春野町以外から通学する生徒も、春野町への理解を深め、春野町を愛する気持ちにつながる。地域がそのまま学びのフィールドになっているのもよい。
- それまであまり意識していなかったクマ目撃情報増加と対策が、前回の議題に上がっていたが、その後、地域でもクマの話題がどんどん出てきてビックリした。見間違いも多いが確かな情報もあるので、今や外に出る職員がクマ除けスプレーを携行する職場もある。春野校舎は危機感をもって一早く対応していただいてありがたい。
- 校内研修は、目標に少し足りなかったなので、目標設定を考えた方がいいかもしれない。働き方改革で時間を取るのも大変だと思うが、必要なものもあると思うので、目標設定を変えつつ、しっかりやっていただきたい。